

海風日記

さまざまな記憶を包含した貴重な収蔵品が
日本郵船歴史博物館にあります。海風が日記を
めくるように積み重ねた歴史を紹介します

“ 美人画ポスター ”



『琴を弾く女性(1915年カレンダー付)』
制作：1914年、サイズ：90.3×60.4cm



『パールをかぶる女性(1916年カレンダー付)』
制作：1915年、サイズ：93.7×60.4cm

美人画ポスターは商業広告としての役割よりも、鑑賞用としての要素が多く含まれていました。しかし1920年代以降、美人画に代わり船体が大きく描かれ、船や航路そのものを宣伝するようになりました。また船名やカレンダーなどの情報もなくなり、ポスターとカレンダーは別々で制作されるようになっていきました。

N YKは1885(明治18)年の創業以来、次々と遠洋定期航路を開設します。こうした航路開設に合わせて、明治末ごろから宣伝用のポスターを意欲的に作り始めました。これは日本のポスター史の中でも早い時期に当たります。

ポスターは印刷所に所属する画工と呼ばれる人たちがデザインし、幾つかの見本の中から広告主が原画を選び、空いているスペースに社名やカレンダーなどを刷って制作されました。従って図案は業種や商品を問わず使用できるように汎用性の高いものが採用され、特に人気が高かったのが美人画でした。当社でも1907年ごろから18年まで、ほぼ毎年美人画のポスターを制作していましたが、手には双眼鏡や航路表、背景には海や船といった、船会社独特のモチーフが描かれ、印刷所任せではないオリジナルのポスターを制作していたことが分かります。

問い合わせ

日本郵船歴史博物館

■所在地：神奈川県横浜市中区海岸通3-9
■電話：045-211-1923
■開館時間：午前10時～午後5時
(最終入館：午後4時30分)
■休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)
■臨時休館日：10月12～16日

■入館料：一般400円、
シニア(65歳以上)・中高生250円、
小学生以下無料
(NYKグループ社員と同伴者1人まで、社員証の提示で入館無料)
■ウェブサイト：<https://museum.nyk.com>